

36

社会医療法人

深谷赤十字病院

366-0052 深谷市上柴町西5-8-1

TEL 048-571-1511 FAX 048-573-5351

URL https://www.fukaya.jrc.or.jp/

f

ig

病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数

466床

医師数

117人

指導医数

41人

外来患者数
(1日平均)

775人

入院患者数
(1日平均)

351人

救急外来
患者数
(1日平均)

19人

救急車搬送
患者数
(1日平均)

11人

心肺停止状態
搬送患者数
(1日平均)

0.78人

診療科目 内科／(総合診療科)／血液内科／腎臓内科／精神科／脳神経内科／循環器科／消化器科／小児科／外科／乳腺外科／支持緩和医療科／整形外科／形成外科／脳神経外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／泌尿器科／産婦人科／皮膚科／眼科／耳鼻咽喉科／麻酔科／救急診療科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／歯科口腔外科

病院の特徴

充実した指導環境、多様な症例を経験できる

- ①多様な症例を経験できる環境／第三次救命救急センターがある当院の病床数は466床、研修医募集定員数8名なので、同規模の臨床研修病院と比較しても研修医数は少ないため多くの症例を学ぶことができ、研修医1人ひとりに対しての指導が行き届く環境です。
- ②研修医同士の仲が良い／国公立大学・私立大学の偏りもなく、全国の大学から集まるためすぐに仲良くなれます。先輩・後輩の仲も良く、研修医室の雰囲気も大変良いです。
- ③手厚い指導医体制／研修医1人に対し原則指導医も1人。研修医のレベルに合わせた指導をしてくれます。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。自ら考え、学び、主体的に行うことで基本的な臨床能力と態度・習慣が身につきます。

支援制度

見学補助／なし

住宅補助／あり

宿舎／なし

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ

研修責任者からのメッセージ

院長
石川 文彦
出身大学: 千葉大学

当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を積むことができます。
初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。
当院では、研修医に実践してもらうことを原則にしていますので、技術的SKILL UPが体感できると共に、研修医一人ひとりに応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば『温かみのある研修環境』を目指しています。
初期臨床研修は単なる専門医への前段階ではなく、臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコメディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれることを願っています。

豊富な症例と自由度の高いプログラム

研修医2年目
竹石 雄一
出身大学: 日本大学(2024年卒)

当院は都心から少し離れた埼玉県北部にあり、暮らしやすく落ち着いた環境の中で生活することができます。病院内の雰囲気もとても良く、研修医同士はもちろん指導医の先生方とも話やすい環境です。研修医の定員が病床規模に比べて少ないため、1人当たりの症例数や手技の経験が自然と多くなり、主体的に診療に参加できることが大きな魅力です。また、プログラムの自由度も高く、自分の興味や将来像に合わせて柔軟に研修内容を調整できます。当直では来院したすべてのwalk inから三次救急選定の救急車までfirst touchをするため、指導医の先生方に見守られながらではありますが検査方法や治療方法を自身で考え、行動する力が身についていくのを日々実感しています。豊富な経験と自由度の高い環境の中で学べる当院での研修は、医師としての第一歩を踏み出すための良い研修環境であると思います。是非一度見学にお越しください!!

研修データ

初期研修医数
(1年目)

8人

初期研修医数
(2年目)

8人

昨年度
マッチング
受験者数

52人

募集人数

8人

当直日数
(月平均)

4~5日

当直
開始時期

1年目5月

当直時の
勤務体制※
※研修医以外の当直人数

4人

主な
出身大学

東北大学／金沢大学／秋田大学／新潟大学／信州大学／群馬大学／千葉大学／岩手医科大学／札幌医科大学／埼玉医科大学／獨協医科大学／日本大学／順天堂大学／島根大学／東京医科大学／帝京大学／筑波大学／福島県立医科大学／弘前大学／東京女子医科大学／三重大学／関西医科大学／筑波大学／山口大学

研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。当院のプログラムの特徴としては、
①「病院の規模に対して研修医数が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医(上級医)が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起こりません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床研修を積むことができます。
②「研修医の要望に応じた融通性のある研修スケジュールを組むこと＝自由度が高いこと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にとっても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。

研修スケジュール《年間研修予定(例)》													
	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	内科						麻酔科	救急科		小児科	非必修科 ローテーション	外科	
2年次	産婦人科	自由選択科			精神科	自由 選択科	地域 医療研修	自由選択科					

※内科: 一般内科8週、循環器科、消化器科、腎臓内科、血液内科(各4週) 救急科: 12週(2年間の救急外来当直で4週分を含む)

専門研修
プログラム
(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

- 給 与 / 1年目: 355,300円/月、2年目: 414,100円/月
- 諸 手 当 / 賞与年2回支給あり、日直手当15,000円/月、
当直手当20,000円/月、時間外手当、居居手当
- 勤務時間 / 8:30～17:00

- 保 険 / 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 休 暇 / 土・日・祝日休み、年次有給休暇1年次13日、2年次14日
- そ の 他 / 学会参加費用年1回支給あり



応募連絡先

教育研修推進室: 増岡 佳美 TEL 048-571-1511

FAX 048-573-5351 Mail kenshu@fukaya.jrc.or.jp